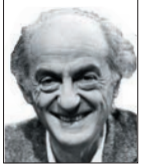
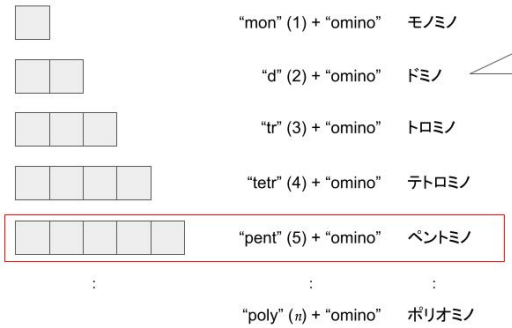
デビュー作 Pan-kai とペントミノ

100 years of Alex Randolph 1922-2004

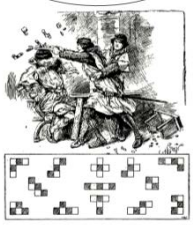


アレックス・ランドルフのデビュー作「パンカイ」は、1961 年にアメリカのフィリップス社から発売されました。アイデアの基になったのが「ペントミノ」。今回は、ちょっとお勉強モードで、ランドルフさんの原点に触れてみましょう。

ドミノの仲間です＝5個の正方形

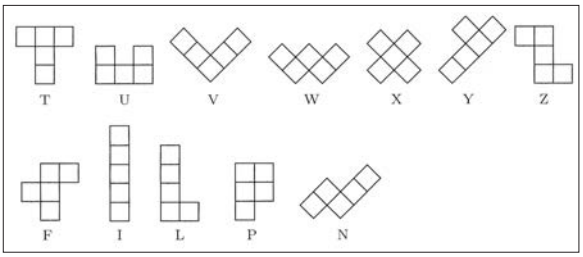


もともとあった「ドミノ」(domino)の"d"を接頭辞と「解釈」
Solomon W. Golomb, 1953

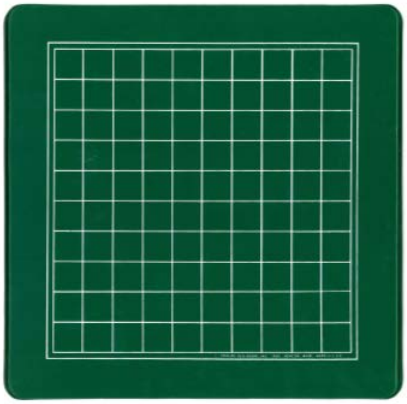


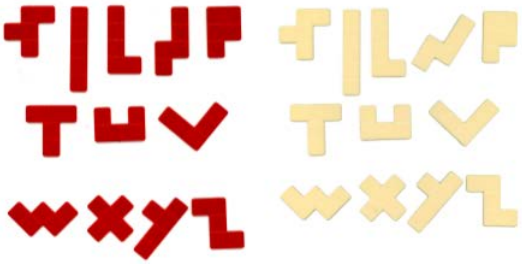
カンタベリー・パズル, 1907

12 種類しかない：名前が付いてます



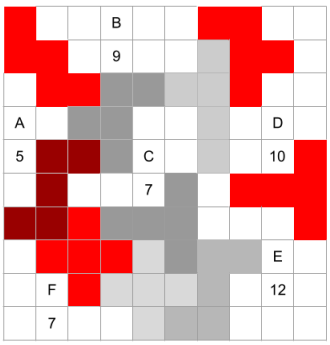
パンカイのルールは？





1. 使うもの：①ボード（10x10マス）、②タイル12枚×2セット（白赤）、人数：2人
2. プレーヤーは、交互に自分のタイルから1枚を選んで、ボード内に置く。裏返してもよい。
3. タイルが重ならないように置く。**残りの空間が5マス未満になってはいけない。**
4. タイルを置けなくなった人が負け。

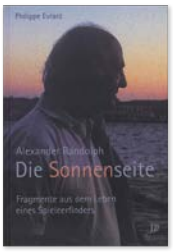
実際の例



画期的なのは、「5マス未満不可」というしばり。残りのスペースを9マス以下にすると、もうそのスペースは何もできない「死にマス」になってしまう（右上図の B,C,F）。このちょっとした「ひとひねり」にランドルフさんらしさが表れています。
また、右上図の A のスペースは「Y」のタイルがぴったり入りますが、実は白のプレーヤーはすでに置いてしまっているので、事実上置けるのは赤プレーヤーのみとなります。このように相手が使った形しか置けないスペースを作るのも有効な戦略です。

ペントミノとパンカイの比較

	盤	タイル	人数	ルール
ペントミノ	8×8 64マス	ペントミノ12枚	2～3人	・交互にタイルを置く。 ・置けなくなった方が負け。
パンカイ	10×10 100マス	ペントミノ12枚×2セット（赤白）	2人	・交互に**自分のタイル**を置く。 ・**残ったマスが5マス未満になってはならない。** ・置けなくなった方が負け。



陽のあたる場所（独語版）
3,630 円
ドイツ語（後半3分の1については和訳付）／カラー 144 頁／ドライ・ハーゼン社（ドイツ）

ランドルフ News

ショーウインドウでミニ・ランドルフ展開催！
ランドルフ・コレクターの先世見さんからお借りしたコレクションから、ランドルフさんの初期作品を展示します。今回ご紹介した「パンカイ」、今年でちょうど 60 周年を迎える代表作「ツィクスト TwixT」や、それを含む 3 M のブックシェルフシリーズなどを展示いたします。滅多に見られない貴重なコレクションです。この機会にぜひご覧ください。

佐々木　隆行（ささき　たかゆき）
百町森スタッフ。アレックス・ランドルフ研究家。2008 年以降、ランドルフさんの功績を忘れないようにと、誕生日と命日にあたる GW 期間中に「ランドルフ展」や「ガイスター大会」を開催している。

●次回のライブ配信は、8月20日（土）午後5時から、今回のテーマを、実物やスライドを見せながらお話しする予定です。YouTube ライブの方が見やすいのでおすすめ。